**２０２１年度**

＜ＪＡバンク中央アカデミー＞

全国研修のご案内（No.1210）

**年 金 基 礎 研 修**

～ 公的年金の基礎知識・書式記入等の基本的な実務を学ぶ講座 ～

* **ＪＡ等の年金推進企画、相談等への対応能力を向上させるための公的年金にかかる基礎知識・基礎実務を身に付けたい方。**
* **信連等の推進部署等でＪＡ等の年金推進にかかる指導や企画担当の新任職員の方、県域年金センター機能を担う新任職員の方のご受講をお奨めします。**

**○ 日程：（４日間）**

2019年 6月15日（火） 9:30 ～ 18日（金）15:40

**○　開催方法**

ウェブ会議システム（「Webex」）によるオンライン研修

**○ 留意事項**

1. 農林中央金庫が配付したiPad端末の確保等、ウェブ会議システム（「Webex」）に接続できる環境をご準備ください。
2. ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承のうえ、受講をお申込みください。



* **研修のねらい（こんな時）**

組合員をはじめとした利用者の年金に対する関心や相談ニーズが年々高まるなか、各金融機関とも年金を切り口とした利用者の預かり資産獲得を強化しており、指定替え等により系統における年金シェアは低下傾向にあります。こうした情勢を踏まえ、ＪＡバンク、ＪＦマリンバンクにおいては、年金を重点商品のひとつに定め、取組みを強化しています。

本研修では、そのために必要となる年金の仕組みを理解するとともに、書式記入等の基礎的な事務処理等を含めた実務を学んでいただくことをねらいとしています。

* **想定する受講対象者**
* 信連等の推進部署でＪＡ等の年金推進指導や企画を担当する新任職員
* 県域年金センター機能を担う新任職員
* **考え方（研修の骨格）**

初日午前中は、①年金獲得の意味合いを共有化のうえ、②各県域における年金の推進状況について情報交換等を行う等の導入部分となります。その後は、③公的年金の仕組み全般について理解を進めるとともに、④事例にそった受取パターンにつきグループ討議やロープレを交えつつ、幅広く学んでいただきます。

３日目の午後以降では、⑤年金請求書と指定替の事務のポイント（2019年４月から男性の厚生年金請求手続きが１年空白になることによる金融機関の年金推進の変化）⑥ライフイベントに活用できる「ねんきん定期便」についても説明を行う等、関連知識の習得を進めていただきます。最後に全体のまとめとして、⑦グループによる事例研究を通じ、自県での年金相談等に必要な知識を体系的かつ実践的に学びます。

* **関係者の声**

（笹沼講師から）

　ちょうど20年前、在職中のことです。年金に対するＪＡ職員の質問に答えられるようになりたい、そしてお客さまのお役に立ちたいと思うようになり、当時の年金実務研修を受講しました。

　年金の基礎から実務までを系統的に学び、そして他県の方々との交流は、その後の私の財産となっています。

　この年金基礎研修は年金の基本を学び、即実践できる内容としています。年金を通して系統内はもちろん、地域に貢献できる人材を目指しましょう。

（一昨年のアンケートから）

* 今回の研修を受講して年金の仕組み等改めて確認できた部分や知らなかった事も学べたのでとても充実した研修でした。実際に、年金相談会へ行く事が多いため、再度、勉強して実務に活用していきたいです。
* 年金基礎ということで年金の基礎的な事から、わりと深い所まで学べる内容で良かった。1度で理解するのは難しい所もあったので、今後分からない事があれば、今回の資料で確認していきたいと思う。
* 年金知識がほとんど無い状態で受講し難しく感じる部分もありましたが、笹沼先生からの説明が1つ1つ丁寧で大変わかりやすかったです。
* **研修講師紹介**

**笹沼　和子** （ささぬま　かずこ）

＜略歴＞　栃木県信農連勤務を経て，平成13年に笹沼和子社会保険労務士事務所を開設。㈱服部年金企画所属講師を経て，平成23年4月に独立。

　　　　　現在は，当社全国研修として本研修や「県域年金推進・指導担当者研修」に加え，多数の県域で県域研修講師として活躍中。

* **研修プログラム（予定）**(プログラムは変更となる場合があります。)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | セッション名 | 内容等 | 講師 |
| 【１日目】 | | | |
| 9:30  12:00  13:00  17:00 | （9:00接続開始） |  |  |
| ＜開講＞  ○金融機関と年金  ○参加県年金推進状況 | ・なぜ年金をとらなければならないのか  ・他県JAと他金融機関の年金取組状況  ・金庫、信蓮、JA本店の役割とは  ・事前課題シートから自己紹介を兼ねて | 笹沼講師 |
| ○年金相談の現場で多いお客さまの質問とは  ○50歳以上の「ねんきん定期便」活用のポイント  ○50歳未満の「ねんきん定期便」のポイント  ○「ねんきん定期便」事例研究  ○質疑応答と今日のまとめ | ・グループ討議  ・ミニロールプレイング  ・「ねんきん定期便」を活用すると回答しやすい  ・50歳から記載内容が変わる  ・意外と多い定期便の見方の勘違い  ・年金相談会の来店につなげるために  ・年金受給予定額のシミュレーションが可能に  ・意外と気になる「学生特例」と「猶予」「免除」制度  ・ライフイベントセールスに活用できる定期便  ・グループ討議  ・ミニロールプレイング  ・質疑応答と今日のまとめ | 笹沼講師 |
| （終了） |  |  |
|  |  |  |
| 【２日目】9:00 接続開始 | | | |
| 9:30  12:00 | ○国民年金メイン加入の相談パターン | ・国民年金保険料の有利な納付方法  ・どうしても保険料が払えない場合  ・国民年金は自分でもらう時期を選べる年金  ・国民年金の計算は年金の切り口になる  ・年金事務所の書類の見方  ・繰上げ支給と繰下げ支給の注意点  ・年金手続のポイント | 笹沼講師 |
| 13:00  12:00  13:00  17:00 | ○厚生年金メイン加入の相談パターン  ○「加給年金」と「振替加算」事例研修 | ・特別支給の老齢厚生年金とは  ・65歳からの老齢厚生年金とは  ・質問の多い「加給年金」と「振替加算」  ・グループ討議  ・年金シミュレーションは夫婦単位で考える |
| ○厚生年金基金とは  ○厚生年金の繰上げ支給と繰下げ支給  ○質疑応答と今日のまとめ  （終了） | ・複数年金を手続きするケース  ・企業年金連合会に請求する事例とは  ・「代行返上」と「解散」の違いとは  ・厚生年金と国民年金のセットの繰上げとなる  ・繰上げ請求を迷ったときは本来請求を  ・繰下げ請求の質問が多くなっている  ・質疑応答と今日のまとめ |
| 【３日目】9:00 接続開始 | | | |
| 9:30  12:00  13:00  17:00 | ○質問の多い「在職老齢年金」  ○社会保険のトータルメリットを考える  ○雇用保険を受給すると厚生年金が停止に | ・年金がカットされる所得とは  ・65歳までと70歳までの在職老齢年金の違い  ・在職老齢年金と繰下げ支給の注意点  ・多くのお客さまが気にしている健康保険  ・さまざまな扶養の違いを確認しよう  ・厚生年金44年の長期特例とは  ・退職後の「基本手当」は厚生年金が全額停止  ・在職中の「給付金」は厚生年金が一部停止  ・65歳時退職のお客さまに対するアドバイス | 笹沼講師 |
| ○2019年度の年金推進対象者  ○年金請求書記入のポイント  ○年金請求後受給者に届く書類とは  ○質疑応答と今日のまとめ | ・61歳は厚生年金女性の年金請求時期  ・65歳は国民年金男女の年金請求時期  ・今年は男性厚生年金の請求がない空白の1年  ・年金推進基本ポイントの確認  ・どのように記載するのか  ・添付書類は加給年金に影響がある  ・受給者に届く書類あれこれ  ・年金証書には様々な情報があふれている  ・6月に届く「振込通知書」は指定替に活用できる  ・指定替事務のポイント  ・質疑応答と今日のまとめ |
| （終了） |  |
| 【４日目】】9:00 接続開始 | | | |
| 9:30  12:00  13:00  15:30 | ○一元化後の共済年金  ○今年度以降の年金法改正 | ・平成27年10月以降の手続きで見えてきたこと  ・請求手続き４つのパターン  ・農林年金のしくみ  ・第1号被保健者の産前産後免除がはじまった  ・「年金生活者支援給付金」とは | 笹沼講師 |
| ○「定期便」から試算できる万が一の年金  ○質疑応答と４日間のまとめ | ・遺族年金と障害年金  ・グループ討議 |
| アンケート記入  （15:40解散） |  |  |

* **募集人員**

　　　定員　３０名

* 応募人数が定員を上回った場合は、受講をお断りする場合がありますので、予めご承知おきください。（受講をお断りする場合は、開講の1カ月前までにご連絡します。）
* 正式なご案内は、事務の都合上、3週間前頃の送付となります。

**○ 参加費用（予定）**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（消費税込）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 金額 | 備考 |
| 受講料 | ４８,１８０円 | 教材費を含みます。 |
| 宿泊代 | － |  |
| 食事代 | － |  |
| 合計 | ４８,１８０円 |  |

* **受講端末等について**

1. 基本的には農林中央金庫が配付したiPad端末から受講してください。農林中央金庫から配付されたiPad端末に空きがない場合や所属団体に端末が配付されていない場合は、インターネットに接続できる自組織等の通信環境と端末(パソコン、タブレット等)により、研修を受講することも可能です。
2. 通信環境の良い場所で受講してください。通信速度は以下のサイトで測定できます。

(参考)　USENのスピードテストサイト⇒https://speedtest.gate02.ne.jp/

　　　上記サイトの判定結果のうち「Web会議」が「快適」だと比較的安定します。

* 農林中央金庫が配布したiPadでは、上記サイトにアクセスできません。ドコモ回線(4G)を利用しているスマホ等を利用して測定してください。

1. 受講端末のご調整が困難な方につきましては、弊社から受講セット（タブレット＋モバイルルーター）を有償でご案内することも可能です。個別のご案内となります。

* **申込みの方法**

５月７日（金）までに以下の方法でお申込みください。

|  |  |
| --- | --- |
| お申込み | 申込方法 |
| 信農連・１ＪＡ県ＪＡ | 「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。 |
| 農林中金本支店・営業所 | N-Styleにより農林中金系統人材開発部へお申込みください。 |

以上

【本件にかかる照会先】　(極力**メールで照会ください**)

㈱農林中金アカデミー　研修企画部　全国研修担当　山口・伊藤・安達

**メール : kensyu@nc-academy.co.jp**

電 話 : ０３－３２１７－３４２０